

| | | | |
|----------------|------------|----|--------------|
| ○事業所名 | リンク大和東教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月24日 | | ～ 2026年3月13日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月24日 | | ～ 2026年3月13日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている。 | ・各専門職がプログラムの作成に関わり、スモールステップを大切にしながら、その時々段階に応じた支援をができる様に心がけています。 ・一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行う事ができています。 | ・社内研修等を積極的に行い、支援や知識の幅を広げているように努めて参ります。 ・お子様の状態や変化に気付けるように、スタッフ間での共有を密に行ってまいります。 |
| 2 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている。 | ・個別支援計画作成、更新の際には必ず保護者様との面談を実施し、生活の様子やニーズをお聞きした上で個別支援計画を作成しています。 ・各専門職がアセスメントを行い、ケース会議を通してスタッフ間での共有を行っています。 | ・引き続き、スタッフ間での共有を計り、保護者様とお子様のニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう個別支援計画の立案を行います。 |
| 3 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。 | ・個別支援計画を元にスタッフ間で共有しながら、お子様の好きなもの、興味関心のあるものなども取り入れ、プログラム作成を行っています。 | ・日々のお子様の状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討し、実施してまいります。 ・プログラムの幅が広がるように、療育内容の知識や幅を広げ、お子様一人ひとりの段階に合わせてプログラム作成を行います。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | ・ご希望などがある際に個別で面談等は行っていますが、ペアレントトレーニングとしてのプログラムは実施していないため、情報提供などの機会は少なくなっています。 | ・引き続きご相談等の個別面談の実施を継続してまいります。 ・ニーズに応じて、ご家族が参加できる研修会の開催を検討します。 |
| 2 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 事業所へ園の先生方にご来所いただく事はありますが、他のお子様と活動する機会は現在持っておりません。 | ・引き続き、ご要望に応じて保育所や幼稚園等との情報の共有は行ってまいります。 ・ニーズに応じて今後検討して参ります。 |
| 3 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。 | その日の活動時に起きた怪我や事故等はフィードバックの場で共有を行い、その後も経過などを聞かせて頂いております。・事故のリスクになりそうな事柄についてはスタッフ間でも共有を行い、以降の再発防止となるような対策についても共有に努めます。 | ・事故対応について、マニュアルを定めています。マニュアルに基づき、事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。 ・また日頃起こり得る状況に対してスタッフ間で確認し、未然に防げるように努めて参ります。 |